17　文章作成の実際⑴　①主題を決める［構成］

　文章には、書く手順があります。

　①主題を決める。

　②主題を分析して材料をそろえる。

　③材料の順序を考えて構想表を作る。

　④構想表をもとに文章を書く。

がその順序で、これをここから３章に分けて文章を実際に書くまで学習します。まず、この章では「①主題を決める」を扱います。

　主題とは、筆者が言いたいことです。例えば、「旅行を楽しむためには事前の準備が大切だ」のようなものです。しかし、主題をいつでもすぐには思いつけません。また、作文で「友情」「ボランティア」などの題目が与えられたときも主題が必要です。そこで、ここでは、題目に合った主題を見つける方法を練習します。

　そのために、レッスン１では、経験や知識を思い出す練習（ブレーンストーミングと言います）をします。レッスン２ではそれを利用して、主題を見つけます。

ブレーンストーミングのコツ

　与えられた題目について、自分の経験、知識、考えなどを、たくさん取り出すことを**ブレーンストーミング**という。取り出したものは、箇条書きにする。そのコツは次のとおり。

　＊いいものを思いつこうとするより、たくさん思いつくようにする。

　＊題目に直接関係がないと思うことでもよい。

　＊思いついたことから、さらに思いつくことがあれば、それも書き出す。

主題の決め方

　ブレーンストーミングで書き出したものを読み返して、そこから自分の考えとして述べられることを整理する。

　①箇条書きの中に、自分の考えがある場合は、それを採用する。

　②箇条書きにない場合は、その項目の中で、自分の感想や思いを刺激するものを見つける。それをもとに意見や考えにまとめる。

　③うまくいかないときは、箇条書きの数が少ないからである。もう一度箇条書きを増やすためにブレーンストーミングに戻ろう。

レッスン１　「プレゼント」という題目で、ブレーンストーミングをし、箇条書きに書き出してみよう。

　例　・今年は、母の日のプレゼントを用意するのを忘れそうになった。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

　ヒント　「自分の経験」「本、新聞、雑誌で読んだこと」「人から聞いた話」など、「プレゼント」に関係あることをいろいろ思い出してみよう。正解が決まっているわけではない。自分で自由に書き出してみよう。

レッスン２　「プレゼント」という題目で、ブレーンストーミングをしたところ、次のような項目が取り出せた。レッスン１であなたが書き出したものと合わせて、それらから、どのような主題を思いつけるか。解答欄に書いてみよう。

＊友達に誕生日プレゼントをあげたが、その友達は、私の誕生日には何もくれなかった。

＊あげるものを何にするかで悩むことが多い。

＊プレゼントをする前に、本人に希望を聞いてからあげるとよい。

＊プレゼントの包装紙を破って開ける人と、破らずに丁寧に開ける人がいる。

＊プレゼントは中身も大事だが、包装がきれいだともっとうれしい。

＊趣味に合わないプレゼントをもらって困ったことがある。

＊プレゼントは変なものをもらうよりお金がうれしい。

＊本人に内緒にしておくサプライズプレゼントは楽しい。

主題

|  |  |
| --- | --- |
|  |  |

　ヒント　「プレゼントは何が大事か」「あげるときに何に気を使うか」などについて、自分の考えはどうだろうか。

【解答】

レッスン１（例）

　･プレゼントは、もらうときより、あげるものを考えるときのほうが楽しい。

　･プレゼントの品は長く残るものが、記念になっていいという人がいる。

　･転校するときには、いろいろなプレゼントをもらったが、今、それらはどこにあるかわからない。

　･両親は誕生日にお互いにプレゼントをしあっている。

　･クリスマスの時期は、高価なプレゼント商品の宣伝がやたら目につく。

　･子供のころは食べ物でもうれしかったが、今はあまりうれしくない。

レッスン２（例）

　･プレゼントは中身も大事だが、包装に気を配ることも大切だ。

　･プレゼントは長く残るものより、すぐに使ってなくなるものがよい。